

PGマルチペイメントサービス クレジットカード決済3DS2.0移行ガイド

- 本書の著作権は「GMOペイメントゲートウェイ株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

目次

1	はじめに	3
1.1	3DS1.0とは	3
1.2	3DS2.0とは	3
1.3	費用・契約について.....	3
2	3DS1.0から3DS2.0への移行.....	4
2.1	インタフェースごとの変更点・注意点.....	4
2.2	3DS2.0決済フローの種類について.....	5
3	クレジットカード決済3DS2.0移行ガイド改定履歴.....	6

1 はじめに

本書は、お客様が従来の3DS1.0から、3DS2.0に移行される際の注意事項等を説明致します。

1.1 3DS1.0とは

クレジットカード情報を入力後、事前登録した本人しか分からないパスワードを入力する認証Webページにリダイレクトさせて、正しいパスワードを入力しなければ決済をすることができない仕組みです。

3DSによる認証をすることで、不正利用によるチャージバックの責任を、加盟店ではなくカード会社に移すことができます。

現在も多くの加盟店様が3DS1.0に対応した決済をご利用いただいております。

しかし、3DS1.0においては認証Webページへの自動遷移ステップが増えることによるユーザー体験の低下、パスワード忘れによる決済途中の離脱などの課題点がありました。

1.2 3DS2.0とは

3DS1.0の弱点を解消し、よりスムーズでセキュリティを高めることを目的として、EMVCoにより新しい3DSとして策定されたのが3DS2.0です。

3DS2.0では購入者を認証Webページに誘導することなく決済を完了することができます。

認証Webページへの遷移なく決済フローを進められることを「フリクションレス」と呼び、Visaによると最大66%もかご落ち率を減らすことができると見込んでいます。

また3DS2.0では、パスワードによる認証に代わり、カード会社側での取引履歴やデバイス情報から不正使用リスクを判定するリスクベース認証が行われます。

Visaのケーススタディによると、リスクベース認証になることで95%の取引をフリクションレスで処理することができ、中程度のリスクがあると判断された取引はチャレンジページへ誘導され、追加の認証が行われます。

1.3 費用・契約について

費用・ご契約にかかるお問い合わせは、お手数ではございますが、弊社担当営業までご連絡をお願いします。

ご利用に際しては、クレジットカード会社への申請が必要となりますため、クレジットカード直接契約の加盟店様につきましては、カード会社ご担当者様へもご連絡いただきます。

2 3DS1.0から3DS2.0への移行

従来の3DS1.0から切り替えをされる加盟店様に向けたシステム変更における注意点を説明致します。

2.1 インタフェースごとの変更点・注意点

表 インタフェースごとの変更点・注意点

No	インタフェース	変更点・注意点	備考
1-1	取引登録 (EntryTran)	3DS2.0での認証をする取引は以下の既存パラメータを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> TdFlag(3DS利用フラグ)に"2"を設定 	TdFlag(3DS利用フラグ)パラメータには、3DSを使用して決済を行うかを設定します。 0：行わない（デフォルト） 1：3DS1.0で行う 2：3DS2.0で行う
1-2		一部の仕向先クレジットカード会社は3DS2.0に対応していません。 未対応時にどのように扱うかを指定するために以下のパラメータが追加されますので、加盟店様側の決済フローに合わせた値を設定ください。 <ul style="list-style-type: none"> Tds2Type (3DS2.0未対応時取り扱い) 1：3DS1.0での認証を実施（デフォルト） 2：エラーとして処理終了 3：通常オーソリを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 2021年末には全ての仕向先クレジットカード会社に対応済みになる予定です。 "1：3DS1.0での認証を実施（デフォルト）"を指定し、未対応であった場合は決済実行(ExecTran)の出力パラメータ"ACS"を"1：ACS呼出要(3DS1.0)"で返却いたしますので、加盟店様側で3DS1.0として処理継続いただく想定です。 "3：通常オーソリを実施"を指定し、未対応であった場合は決済実行(ExecTran)の出力パラメータ"ACS"を"0：ACS呼出不要"で返却いたしますので、加盟店様側で決済完了したものととして処理いただくことを想定しています。
2-1	決済実行 (ExecTran)	3DS2.0での認証をする場合は以下のパラメータを必ず追加いただきます。 <ul style="list-style-type: none"> RetUrl(加盟店戻りURL) 取引登録にてTdFlag(3DS利用フラグ)を"2"にし、決済実行にて当該パラメータを入力しないと入力エラー(E01E30001)となります。 	
2-2		3DS2.0の決済フローにおいて、3DSサーバーからのコールバックを加盟店様側で直接受ける場合(都度加盟店コールバック方式)は以下のパラメータで指定します。 通常の決済フローをご利用になる加盟店様、もしくは下記2-3のモバイルアプリ向けの3DS SDKを利用したお取引の場合、当パラメータは不要です。 <ul style="list-style-type: none"> CallbackType(コールバック方法) 1：通常（デフォルト） 2：直接受ける 	通常コールバック方式と都度加盟店コールバック方式については後述します。
2-3		モバイルアプリ向けの3DS SDKを組み込んだ決済フローの場合は、以下のパラメータを設定いただきます。 通常コールバック方式の決済フローでご利用になる加盟店様は当パラメータは不要です。 <ul style="list-style-type: none"> AppMode(モバイルアプリモード) 3DS SDKを利用する場合に指定してください。 0：利用しない(デフォルト) 1：利用する 	

No	インタフェース	変更点・注意点	備考
2-4		3DS2.0でのリスクベース認証に必要となる多数のパラメータが追加になります。 リスク判定のルールはクレジットカード会社により異なること、また不正動向に応じてルール内容が変更されることから、どのパラメータを設定することが有効かをお示しすることはできません。 クレジットカード会社からはリスク判定精度を高めるためには、できる限りのパラメータを入力することを推奨されています。	
3-1	3DS2.0認証後決済実行 (SecureTran2)	新たに追加となるインタフェースです。 3DS2.0では、3DS認証後に呼び出すインタフェースが3DS1.0認証後決済実行(SecureTran)とは異なります。 決済実行(ExecTran)で返却されるACSパラメータに応じて呼び分けてください。 <ul style="list-style-type: none">3DS1.0認証後決済実行(SecureTran)3DS2.0認証後決済実行(SecureTran2)	
4-1	3DS2.0認証実行 (Tds2Auth) (Tds2AuthApp)	新たに追加となるインタフェースです。 前述したコールバックを加盟店様側で受けとる方式の場合、もしくはモバイルアプリ向けの3DS SDKをご利用になる場合に呼び出す必要があります。	
5-1	3DS2.0認証結果取得 (Tds2Result) (Tds2ResultApp)	新たに追加となるインタフェースです。 前述したコールバックを加盟店様側で受けとる方式の場合、もしくはモバイルアプリ向けの3DS SDKをご利用になる場合に呼び出す必要があります。	

※パラメータの詳細については、『クレジットカード決済利用マニュアル』をご参照ください。

2.2 3DS2.0決済フローの種類について

『クレジットカード決済システム概要』で図示していますように、3DS2.0の利用にあたっては以下の二つの決済フローから選ぶことができます。

決済フローの種類	概要	どのような加盟店様向けか
通常コールバック方式	3DS2.0認証処理における、画面リダイレクトを伴うブラウザ処理をPGマルチペイメントにて行う方式です。 加盟店様は決済実行(ExecTran)時に返却されます RedirectUrl(3DSサーバーへのリダイレクトURL)へ、ご利用者様のブラウザをリダイレクトした以降の処理は不要です。 3DS2.0認証の一連の処理が終わると、RetUrl(加盟店戻りURL)で指定した加盟店様のサーバーにコールバックされます。	通常のWebブラウザでの決済のみをされている加盟店様はこの方式をご利用いただくことで、システム改修のコストを下げることができます。 モバイルアプリ上でのご利用をされる場合につきましても、WebViewであればこの方式を利用することができます。
都度加盟店コールバック方式	3DS2.0認証処理における、画面リダイレクトを伴うブラウザ処理を加盟店様にて行う方式であり、通常コールバック方式では不要である以下の2つのインターフェースを呼び出す必要があります。 <ul style="list-style-type: none">3DS2.0認証実行3DS2.0認証結果取得 3DS2.0認証の処理の都度、RetUrl(加盟店戻りURL)で指定した加盟店様のサーバーにコールバックされますので、タイミングに応じて上記処理を呼び出していただきます。	ご利用者様のブラウザで発生するリダイレクト処理をできるだけ加盟店様側で制御したい場合に、この方式であれば可能になります。 またモバイルアプリ向けの3DS SDKを導入されており、かつ通常Webブラウザ向けのサービスも提供されている加盟店様の場合は、この方式を利用することでモバイルアプリとWebブラウザにおける決済フローを揃えることができますため、システム改修のコストを下げることが期待されます。

3 クレジットカード決済3DS2.0移行ガイド改定履歴

バージョン	公開日	章	内容
1.00	2020/5/19	-	新規作成
1.01	2020/6/16	-	「表 インタフェースごとの注意点」から TdFlag (3DS利用フラグ) の説明を削除
1.02	2021/03/16	-	「はじめに」の内容を詳細化 「表 インタフェースごとの注意点」に3DS SDK等の変更内容を反映 「3DS2.0の処理シーケンスについて」を追加